

（仮称）東大和市新総合計画基礎調査報告書の「今後のまちづくりにおける主要課題」と市の事業等の整理

	今後のまちづくりにおける主要課題	平成 3 1 年度の主な事業等
1	<p>【将来にわたって住み続けられる価値の高いまちづくりの推進】</p> <p>このままの状況で推移した場合、今後、当市でも不可避と考えられる人口減少・高齢化社会の到来によるマイナスの影響を最小限に食い止め、将来にわたって活力にあふれたまちとして持続的な発展を遂げるため、首都圏の中でもまれにみる水と緑に恵まれた自然環境と様々な都市機能（居住・子育て支援・教育文化・商業業務など）が融合した良質な生活空間を守り、住宅都市としての価値を高めていく必要があります。</p>	<p>第二次基本構想及び第四次基本計画に基づく施策や、人口減少の抑制を目指したまち・ひと・しごと創生総合戦略の取組などを行っています。</p> <p>平成 3 1 年度の主な事業等は、項目番号の 2 から 6 までに掲げるとおりです。</p>
2	<p>【次世代のまちづくりを担う子どもたちへの支援の充実】</p> <p>多摩地域 26 市の中でトップクラスの水準を誇る合計特殊出生率に象徴される「子育てしやすいまち」というブランド力を高め、市外からの子育て世帯の持続的かつ安定的な転入に結びつくよう、今後ますます多様化・高度化していくと見込まれる子育て支援に対するニーズに即したきめ細やかなサービスの充実に努めるとともに、子どもたちが将来に向かって、心身ともに健やかな成長を遂げていけるよう、学校教育の質の向上を図る必要があります。</p>	<p>「日本一子育てしやすいまちづくり」を最も重要な施策として位置づけ、待機児童対策や学力の向上の取組などを行っています。</p> <p>子ども・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「(仮称) 子ども・子育て憲章」の制定準備 ● 「(仮称) 子ども総合プラン」の策定 ● 「谷里保育園」の増築による定員増等 <p>学校教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 少人数学習指導員、ティームティチャーの配置 ● いじめ防止等に関する条例制定 ● 中学校全校における特別支援教室の開設 ● 小・中学校体育館の空調機器設置の検討 等
3	<p>【誰もがいつまでも健やかにいきいきと暮らせる環境の充実】</p> <p>乳幼児から高齢者まで障害の有無等に関わらず、誰もが住み慣れた地域の中でいつまでも健やかな毎日を送ることができるよう、市民一人ひとりのライフステージに合った健康づくりや生涯学習・スポーツ活動を促進するとともに、今後さらに増加すると見込まれる高齢者が、地域のまちづくりを支える担い手として、いきいきと活躍することができるよう、社会参加の機会の拡大や健康寿命の延伸を図る必要があります。</p>	<p>住みなれた地域でいつまでも生き生きと暮らしていけるように、健康寿命の延伸や介護予防の取組、疾病予防の取組などを行っています。</p> <p>健康・福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 妊婦への感染予防のための先天性風しん症候群対策の実施 ● 健康で幸せな都市の実現を目指した「健幸都市宣言」の実施の準備 ● シニアの方々を中心とした介護予防リーダーの養成や東大和元気ゆうゆうポイント事業の実施等 <p>※東大和元気ゆうゆう体操の普及促進</p>

4	<p>【安全・安心で快適な暮らしを支える諸機能の維持・向上】</p> <p>近年、全国的に災害外力（災害の原因となる台風や集中豪雨、地震等の自然現象）が増大し、当市でもこれまでは想定し得なかった水害の激甚化や発生頻度の増加など、自然災害の発生リスクが高まっていくことが懸念される中、市民の安全・安心で快適な暮らしをしっかりと支えるため、防災・防犯面の機能強化や道路・下水道等の生活基盤施設の適切な維持・管理など、ハード・ソフトの両面から日常生活に欠かせない諸機能の維持・向上を図る必要があります。</p>	<p>環境にやさしく快適なまちを目指し、防災・防犯体制の推進、道路・交通の整備、緑の保全の取組などを行っています。</p> <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「地域防災計画」の改定 ●防災マップの修正及び洪水等ハザードマップの作成 ●避難所となる中学校に特設災害公衆電話の設置 ●防災行政無線のデジタル化に向けた更新工事の実施 等 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市立狭山緑地の遊歩道などの更新 ●特色ある公園整備に向けた「花づくりが楽しめる公園」事業の実施 ●狭山緑地管理事務所を拠点とした狭山緑地の保全強化 等
5	<p>【市内外からより多くの人・モノ・お金を引き込める求心力の向上】</p> <p>市内外からより多くの人・モノ・お金を市内へと引き込み、地域経済の活力の増進を図るため、子育て世帯の定住促進に加え、市税確保の機会としても重要な地域産業の振興に努める必要があります。あわせて、関係機関との連携・協働のもと、狭山丘陵や多摩湖をはじめとする先人たちから大切に受け継がれてきた多彩な地域資源の可能性をさらに引き出すとともに、その魅力について、ターゲットを明確に絞り込んだ高い実効力を伴ったプロモーション戦略をより一層積極的に展開する必要があります。</p>	<p>暮らしと産業が調和した活力あるまちを目指し、商・工・農業の振興、観光事業の推進、市の魅力発信の取組などを行っています。</p> <p>商業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●創業支援について、商工会等と連携を図りながら、「創業支援事業計画」に基づいた事業の支援等 <p>市の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少の抑制に向けた施策の実施 ●市のブランド・メッセージ「東京 ゆったり日和 東大和」やロゴマークを活用した市の魅力発信 ●不動産情報サイト等を活用した子育てしやすい市の魅力発信 等
6	<p>【将来にわたって持続可能なまちづくりを支える市政経営基盤の確立】</p> <p>今後、人口構造の変化の影響を受け、個人や地域が抱える課題がますます多様化・複雑化していくと見込まれる中、市民満足度の高い行政サービスの提供とまちづくりの費用対効果の最大化を同時に実現できるよう、子育て・高齢者の見守りや防災・防犯はもとより、より多くの施策分野において、地域社会を構成する多様な主体との連携・協働に根ざしたまちづくりを推進するとともに、財源・職員・施設等の限りある行政の経営資源を、従来にも増して無駄なく最適に配分することが必要となります。</p>	<p>適正な行財政運営の実現を図るため、行政改革の取組や、市報やホームページ等による行政情報の提供などを行っています。</p> <p>行財政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歳入の確保について、市税等収納率の向上を目的とする納税管理及び徴収補助等業務委託の実施 ●「公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設等の総量の縮減や配置の見直しについて検討等 <p>市民協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「職員の市民協働の推進に関する方針」に基づき、職員の協働への理解促進を進めるため、研修の実施 等